

地域密着型金融推進計画

(平成 21 年度 ~ 平成 23 年度)

長岡信用金庫

地域密着型金融推進計画

(平成 21 年度～平成 23 年度)

．基本方針

長岡信用金庫は、平成 15 年 4 月以降の 2 次にわたるアクションプログラムを通じて、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上等を柱に取り組んできました。

また、平成 19 年度以降は、時限的なアクションプログラムから恒久的な枠組みへ移行されたことに伴い、新たに「地域密着型金融推進計画（平成 19 年度～平成 20 年度）」を策定し、地元の皆さまに必要とされる信用金庫を目指して、機能強化を推進してきました。

平成 21 年度から取り組んでいる新 3 力年計画「しんきん「つなぐ力」発揮 2009」においても地域密着型金融の推進を掲げており、これまでの取組み実績を踏まえ、以下の 3 点を重点項目として、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、地域経済、社会の発展に貢献し、地域の持続的な発展を目指していきます。

．重点項目毎の取組み方針

(1) 課題解決型金融の強化

地域の中小企業に関する定性情報や店舗や営業担当職員といった密度の高いチャネルという強みを積極的に活用し、地域の中小企業に対して、真の付加価値を提供する課題解決型金融の強化を図っていきます。

事業支援など高付加価値の提供

- ・ 経営改善を必要とする取引先に対して、経営改善計画書の策定支援などランクアップやランクダウン防止に向けた取組みを進めます。
- ・ 多様な融資手法の活用を検討します。
- ・ ビジネスサミットへの出展・ビジネスマッチングを支援します。
- ・ 法律・税務・労務・年金等の相談会を開催します。

中小企業のライフサイクルに沿った取組み

イ．創業支援

- ・ 商工会議所との連携を図り、事業構想を具体化して事業計画作成の支援を行います。

ロ．新事業支援

- ・ 事業計画とキャッシュフローに重点をおいた創業支援資金やコンサルティング能力を活かした新事業支援など総合的なサポートを行います。

ハ．事業再生

- ・ 中小企業再生支援協議会、その他外部機関と連携し、事業再生手法・ノウハウを蓄積し、取引先の財務内容の向上のために活用します。

二．事業承継

- ・「若手経営者の会」を設立し、後継者支援を行ないます。
- ・ M & A ニュースの情報提供を行ないます。

個人のライフプランを支援する取組み

- ・ 住宅ローンや教育ローンのほか、各種消費性ローンの商品を充実させ、個人のライフサイクルに応じた資金の提供を行います。
- ・ 昨今の厳しい景況下、住宅ローンの返済額見直し等の要請に柔軟に対応し、支援していきます。
- ・ 多重債務者問題について、予防も含めて解決に向けた取組みを行います。

(2) 地域との連携強化

従来以上に厳しい環境にある地域経済において、中小企業が今後も成長を続けていくためには、行政や商工会議所(商工会)、地域住民、大学やNPO等非営利組織などとともに地域金融機関として地域経済の将来に深く関与していく役割が求められています。

地域の中小企業に対する情報仲介機能の発揮

- ・ 長岡しんきんビジネスクラブ会員交流会を開催します。

地域関係機関等との連携強化

- ・ 商工会議所との連携により、地域力拠点事業に協力していきます。

(3) 高密度チャネルの有効活用

これまでの当金庫の営業態勢では、たとえ顧客への訪問頻度が高くても、集金などの定型的な業務に時間がとられ、課題解決に結びつく相談や提案などへの取組みは必ずしも十分ではありませんでした。今後は、チャネルの機能を決定する役職員のスキルを長期的に高めていきます。

顧客情報のきめ細かな把握と有効活用

- ・ 長岡しんきんビジネスクラブ会員へのレポート配布・経営セミナーなど、経営情報の提供を行います。
- ・ 取引先のビジネスマッチング支援を積極的に推進しビジネスチャンスが広がる支援をします。

以上